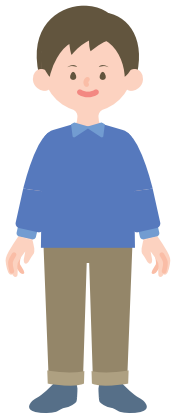


どこにくっついているかな？

“くっつき虫”がどこにくっついているか、さがしてみましょ。う。

体のどのあたりについていましたか？
くっついていた位置に「○」をつけてみましょ。う。



どんな素材の服についていたでし。うか。
 ふわふわの毛がある布地 (ニットやフリースなど)
 毛のない布地 (デニムやTシャツなど)
 その他 (メモ：)

“くっつき虫”の種類をみわけてみましょ。う。
このセルフガイドの中面を参考に“くっつき虫”の名前を調べてみましょ。う。

“くっつき虫”さがしスポット

点線かこで囲んだ場所は、内面しょうかいで紹介している“くっつき虫”がよく観察できるところです。



こもれびの丘
キンミズヒキやチヂミザサをさがしてみましょ。う。

トンボの湿地
アレチヌスビトハギやキンミズヒキが服にくっついているかも

花木園
アレチヌスビトハギやコセンダングサなどがよくみつかるとよ

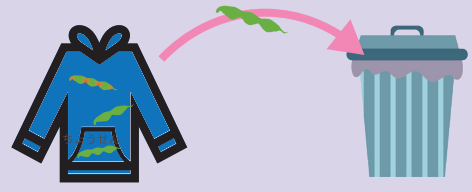
ゆめひろば
アレチヌスビトハギやチヂミザサなどがよくみつかるとよ



“くっつき虫”が外来種だったら？

外来種がいらいしゆの“くっつき虫”が服についていたら、取り除いてゴミ箱へ捨てましょ。う。

外来種は、日本せいいくに生育している植物が育つ環境を奪かんきやうう可能性があります。日本の植物を守るために、外来種うばのタネをまかないように気をつけましょ。う。



公園からのおねがい

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょ。う。
- ・花畑かたんや花壇さく、柵で囲った場所は入らずに観察しましょ。う。
- ・スズメバチに出会ったら、立ち去るまで待ちましょ。う。

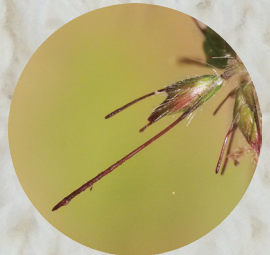


“くっつき虫”をさがせ



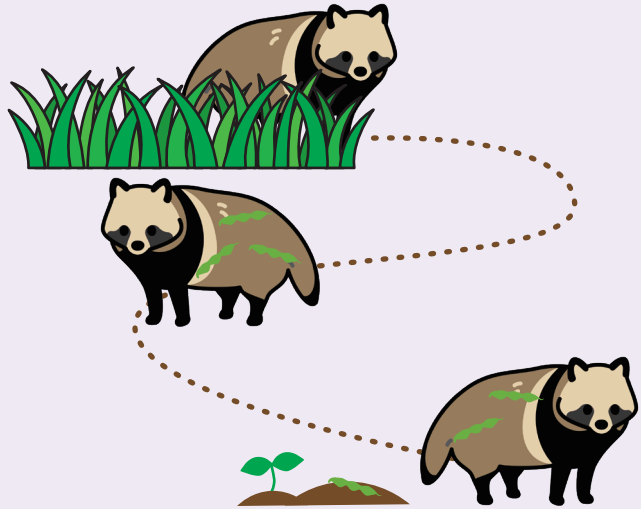
着ている服はや履くついている靴をちょっとみてみてくださ。い。

ちやっかり移動する“くっつき虫”をさがしてみましょ。う。



“くっつき虫”の正体は？

“くっつき虫”は植物のタネです。植物はタネの時にいろいろな方法で移動します。タネが“くっつき虫”になる植物は、動物の毛や人間の服などにくっついて遠くまで運んでもらい、新しい場所で芽を出します。



どうやってくっつくの？

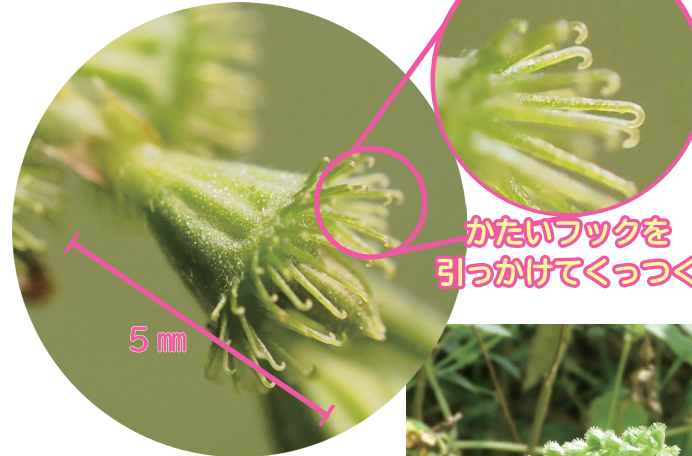
くっつき方はさまざまです。キンミズヒキやアレチヌスビトハギのようにフックのような突起を引っかけてくっつくものや、チヂミザサのようにネバネバとした粘液をまとってくっつくものがあります。



靴ひもにくっついたキンミズヒキのタネ

“くっつき虫”をみわけてみよう

キンミズヒキ



かたいフックを引っかけてくっつく

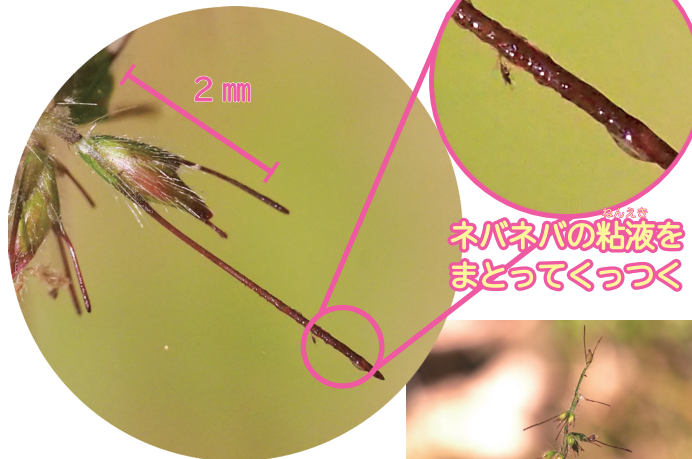
5 mm

- 林縁の草地などに生育する。
- 夏に花が咲き、9月ごろにタネをつける。



実がなっている様子

チヂミザサ



ネバネバの粘液をまとってくっつく

2 mm

- 林の中や道端などに生育する。
- 9月ごろから花が咲き、タネをつける。



実がなっている様子

コセンダングサ 外来種



6~12 mm

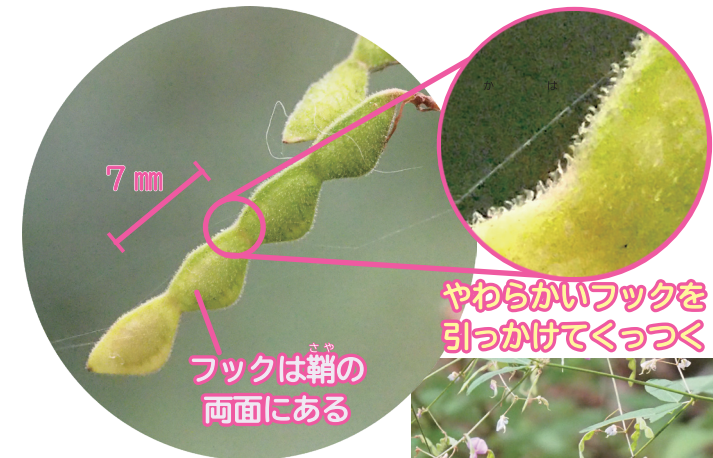
たくさんのトゲを引っかけてくっつく

- 荒地や河原などに生育する。
- 9~11月に花が咲き、タネをつける。



実がなっている様子

アレチヌスビトハギ 外来種



やわらかいフックを引っかけてくっつく

7 mm

フックは鞘の両面にある

- 日当たりのよい道端などに生育する。
- 9~10月に花が咲き、タネをつける。



実がなっている様子